

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	身近な道路環境の整備		電話番号	087-839-2516
	基本事業	生活道路の整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	道路整備事業（建設計画等登載路線）		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	建設計画に位置付けられている市道下川原北線を始めとする2車線以上の道路（ ）等について、将来交通量を推計し、道路の規格などの見直しを行う中で、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を図る。（ ）1下川原北線 2中坪寺井線 3香川綾南線 4城渡吉光線 5南部中央線 6明神永之谷線 7高橋線				
30年度概要	下川原北線 道路改良工事 城渡吉光線 用地補償 明神永之谷線 改良工事等 高橋線 改良工事等				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：建設計画に位置付けられている2車線以上の道路 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	建設計画登載の2車線道路を整備することにより、道路利用者の利便性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
単年度整備延長	m		304	359	229	257

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
道路整備率	%	目標値		62	75	91	91
		実績値		60	65		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 一部の路線では用地取得が難航しているが、県が進める空港連絡道路に関連する香川綾南線の整備が、予定どおりに完了した。 (目標達成度)							(達成度) 86.7%
							30点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	255,406	411,169	357,914	295,196
（事業費）	[千円]	229,304	379,765	327,566	252,709
（職員人件費）	[千円]	26,102	31,404	30,348	42,487

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

香川綾南線については整備が完了した。今後、用地取得が難航している路線について、重点的に用地交渉を進める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域審議会等地域と連携しながら、下川原北線など、供用時期の目標を定め、着実に整備を進める必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	身近な道路環境の整備		電話番号	087-839-2516
	基本事業	生活道路の整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	道路新設改良事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内に存する800kmを超える幅員4m未満の市道について、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境を創出するため、地域バランスに配慮しながら、4m以上に拡幅整備を行う。		
30年度概要	市単独新設改良事業 単独原費補助事業 道路新設改良国庫補助事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	対象施設：市が管理する道路で主に幅員4.0m未満であり一定の要件を満たした整備要望のある路線 対象者：道路利用者
意図(どのような状態にしたいか)	道路利用者の利便性の向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
工事施工路線数	路線		49	43	45	45

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	幅員4m以上の市道整備率	%	目標値		65.1	65.3	65.5	65.5
			実績値		65.17	65.26		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 概ね整備目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 99.9%
								34点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	552,812	422,923	597,498	667,425
(事業費)	[円]	504,447	385,238	561,080	632,525
(職員人件費)	[円]	48,365	37,685	36,418	34,900

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度は、生活道路整備審議会で採択された路線に着手するなど、その事務が増加し、事業の進捗が遅れた。  
平成30年度は、生活道路整備審議会の運営手法及び採択路線整備手法が確立できたことから、さらなる事業の進捗を図る。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

市民ニーズに応えながら、地域バランスも考慮し投資効果の向上、コンパクトエコシティの推進等を目的として、生活道路整備審議会の答申を基に円滑な事業の推進を図っていく。